

清溪セミナー研修 2019.07.26-27 日本青年館

調査事項 2-2 防災ワークショップ

作成者 保守の会：吉田つとむ

### <概要>

講師の池田恵子氏（静岡大学教育学部教授・同防災総合総合センター兼任教員）の指導で、参加者と関係学生が入って、防災ワークショップが開かれました。全体が9班に分かれ、それぞれテーマを変えた課題で協議が行われることになりました。

私のインターン生には、別のグループに入るように指示をし、私は4番目のグループになっていました。



### <所感>

私が入った4番目のグループは、議員が4名、学生が1名でした。私は自分が意見を述べる役目や全体会議への報告者を担当することなく、ファシリテーターをやってみました。

ライフラインがまだ復旧せず、自宅から動けないで、日常生活品などが足りていない高齢者や障がい者世帯が何軒もあるという課題からスタートし、たにも困った状態が発生する中で、避難所では食事や物資をもらうために避難所に寝に来る人があるという事態も起きています。

と言う問題設定を前提に、全員で意見を出し合い、問題解決の方法を探りました。

実際には、課題の仮定条件を整理することが簡単にはいきそうになく、最終的には、絞り込みが図れたというところまでにはならず、報告者に煩わせることが多くなりました。





他のグループでは、第1の報告者が、おどろくことに私のインターン生になっていました。本来は、議員がやってほしいと期待するものですが、私のインターン生がいきなり担当したにも関わらず、無事に報告するところを見て、大いに安心しました。

第2、第3グループは、連続して女性議員が報告者になっていました。

第4グループは写真の通り、男性議員でした。

他にも、女性議員が報告者になる例が続き、その先駆性に驚嘆しました。